

神奈川私学保連 NEWS



神奈川私学保護者会連合会 会長 佐藤 昭
(横浜創英中学・高等学校後援会 会長)

南極から得たこと

今年の7月に日本私学保護者会連合会

の総会・研修会が千葉県で開催され、北海道から沖縄県まで各県の代表143名が参加しました。1日目の総会を終え、2日目の研修会後に昼食場所として訪れたところは、浦安市と千葉市をむすぶ京葉線の新習志野駅から1.5キロメートルほどのサッポロビール千葉工場でした。東京湾を望む船橋港で工場に隣接する埠頭に係留されているオレンジ色の船体が目にはいつてきました。船体には「しらせ SHIRASE 5002」と書かれており、南極観測の任務に利用されていた三代目の南極観測船でした。

南極は簡単には行けないという思いがありました。最近の新聞広告では、旅行社が企画し、「一生に一度は訪れたい!! 神秘の大陸へ!」「南極への旅14日間」とありました。また、「極地旅行25年の実績」と記載があり、以前から南極旅行が行われていたことを知りました。

南極観測船は第一代が「宗谷(そうや)」、第二代が「ふじ」でした。「しらせ」は第三代ということになります。現在、南極に行っているのは第四代「新しらせ」です。号外もでた昭和32年(1957年)の出来事です。南極大陸といえ、かつて南極観測船「宗谷」で観測隊が上陸し「日本隊、南極上陸」のニュースは、国中を

沸き立たせました。

南極での観測結果を世界に示すため、越冬隊を組織して一年半を過ごし帰国しました。持ち帰った観測結果は、世界を驚かせ、南極が地球最古の大陸だと証明するきっかけとなり、オーロラ発生などの解明に結びつきました。また、南極での物資運搬に犬ぞりを利用する目的で22頭の樺太犬も同乗し、奇跡的に生還したタロとジロの2頭は当時、大きな話題となりました。

当時の南極まで2万キロの道は過酷なもので、11名の越冬隊のリーダーは西堀栄三郎さんでした。

西堀さんは京都に生まれ、一九歳の時、貿易商の兄から習った英語で、当時日本での講演に招かれたアインシュタイン博士の旅の途中、アインシュタイン夫婦の通訳を引き受け、京都・奈良を案内しています。アインシュタイン博士は、探究心の塊で博士のことばは西堀さんの人生に影響を与えました。

その後、真空管の発明や日本の経済の基礎となる品質管理手法を伝え、日本山岳会会長を務めるな



船橋港の「しらせ」

ど多方面で活動しました。その西堀さんのことばをいくつか紹介します。

困難な仕事を達成するために必要な事として「チームワークの要件は、目的に対する共感、誇りと恥の意識である。過度の功名心・功名の独り占め意識はチームワークの大敵である。」

また、もの作りに関わった技術者として「作る人は、よい製品・人に喜んでもらえる製品を作るために魂を込める。よい品質は、作る人の魂の証である。」

「向上心があれば、飽きることがない。仕事・生活の中に、向上の道を残さねばならない。向上を求めなければならぬ。」

そして「個性は変えられない。能力は、変えられる。」の数々のメッセージを残しています。



現代社会は協調、調和、相互協力が欠かせません。互いの個性を尊重し合い、相手を思いやる心の大切さを次世代の子どもに伝えていくことが必要です。保護者会会員の皆様にご協力をいただき、共にその役割を担っていきましょう。

11月27日(月) パシフィック横浜会議センターで「神奈川県私立中学校・高等学校校振興大会」が開催されます。私学に通う子どもたちの保護者にとつて、公立と私学の学費負担の格差を強く発信する大切な大会と位置付けています。多くの保護者の皆様に参加いただけることを期待しています。

●新役員紹介



新理事 稲葉 夏美

(武相中学校・高等学校PTA 会長)

武相学園は、6月に創立75周年を迎えました。

事業の一つとして、教科ごとに分散していた職員室を一体化し、先生方、生徒たちの交流が、ますますはかれることになりました。また、我が校はクラブ活動も盛んで、運動部だけでなく文化部においても全国大会出場するなど、まさしく「文武両道」の質実剛健の男子校です。

学園の建学の精神でもある「道義昂扬」「個性伸長」「実行徹底」は、まさに、今求められている教育です。学力向上はもちろんですが、さまざまな困難に遭遇した時に、自分で考え解決に導き出す能力は、人間力として備える必要があると思います。生徒たちの姿を見ると、切磋琢磨しながらも共に学ぶ中で養われ、今後、社会にでたうえでの大切な宝物となり、個性の一つとなるでしょう。

中学・高校と多感な時期に成長していく子どもたちが、より良い環境の中で笑顔を輝かせるために、武相学園のPTAと後援会は常に協力しております。さまざまな行事を通じて親睦を深め「武相男の子」のために、先生方と保護者が一緒に、活動しております。

この度、理事を仰せつかり、微力ではございますが、皆様のご指導のもと、私学保護者連合会の発展と、未来の子どもたちのために、お手伝いさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



新理事 濱野 弘規

(横浜雙葉学園後援会 顧問)

横浜・山手の丘に学舎のある横浜雙葉学園は、17世紀半ばのフランスでニコラ・バレ神父が子どもたちの尊厳を回復するための教育活動から始まりました。神父が開設したカトリックのサンモール修道会(後に「幼きイエス会」と名称変更)の活動は世界各地に広がり、日本では明治開国に至ります。バレ神父の教えを受け継ぐマザー・マチルド他4名の修道が1872年に横浜・山手58番地に外国人子女教育および貧困孤児養育事業を開始、1900年に一般の子女を対象に女子教育を始め、1958年に校名を横浜雙葉中学校・高等学校に変更しました。バレ神父やマザー・マチルドの女子教育にかける熱い想いは、現在も教育理念として受け継がれています。

学園の精神の土台であるキリスト教は、子どもたちの豊かな可能性と素晴らしさを讃え、ありのままの自分が愛される存在であることを実感する時、子どもたちは自分に自信と誇りを持って可能性に向かってチャレンジすると述べています。「徳においては純真に、義務においては堅実に」の校訓には、神と人の前に素直な精神と品性を備え、自分の使命を最後まで貫く強さを持った女性を育てるという意味が込められています。

横浜雙葉学園の保護者の集いは、後援会・中高および小学校父母の会、さらにキリスト教に関連した土曜会・アンナ会と多岐にわたっており、各々の組織の特色を生かしながら、学園の運営を支援しています。

このたび、ご縁があつて私学保護者会連合会の理事を仰せつかりました。皆さまのご理解のもと私学の更なる発展と、私学に関わる生徒・父兄・職員一人一人の心身の健康増進に微力ながらもお手伝いさせていただけることを願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者として、ぜひスクラムを組み、ネットワークを持って、次代を担う青少年の育成に取り組んでいただければと、そのように思っています。

これからもそれぞれの学校の教育方針に深いご理解を賜りますことをお願いし、さらにこうした神奈川私学全体の動きに対しても絶大な協力をお願いいたします。本日は誠にありがとうございます。



新理事 庄司 由紀

(横浜富士見丘学園中等教育学校PTA 副会長)

横濱富士見丘学園は、新しい時代を生きる「品位ある自立した女性」を育成することをめざして、一人ひとりを尊重しながら、心美しく優れた人格の女性育成に努めている女子の中学・高等学校です。本学園の理想は、深い教養と洗練された平和を愛する国際感覚にあふれ、「社会のために、そして他者のために役立つ自分でありたい」という強い意志を持った聡明な女性の育成です。

また、教育懇談会、授業参観、個人面談、各行事等、保護者が学園に足を運ぶ機会が多く用意されており、先生方のきめ細かいご指導に感謝すると共に、学園と同じ価値観を持ちながら子どもたちの成長を手助けする事ができ、あらためて私学教育の大切さを感じています。

本学園のPTAは、会員の皆様に支えていただきながら、各委員会の活動、講演会開催、文化祭参加、サークル活動等を通し、先生方や保護者相互の交流を図っています。一人ひとりの子どもたちの確かな未来のために、学園と歩調を合わせてサポートしていきたいと思っております。

このたび、神奈川私学保護者会連合会の理事を仰せつかりました。このような大任をお引き受けするのは初めてのことですので、どこまでできるかという不安はありますが、私学発展のため、精一杯努めますのでどうぞよろしくお願いたします。

●平成29年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏名	所属父母会（PTA）・役職名
会長	佐藤 昭	横浜創英中学・高等学校後援会 会長
副会長	深沼 昭彦	横浜清風高等学校PTA 常任顧問
	原 大蔵	聖光学院中学校・高等学校後援会 理事
	嶋下 博厚	洗足学園中学校・高等学校洗足会 顧問
理事	赤松 育子	鎌倉学園中学校・高等学校PTA 顧問
	木村 美佐	鎌倉女学院中学校・高等学校家庭会 顧問
	稲葉 夏美	武相中学校・高等学校PTA 会長
	庄司 由紀	横浜富士見丘学園中等教育学校PTA 副会長
会計理事	濱野 弘規	横浜雙葉学園後援会 顧問
	浅見 昌宏	立花学園高等学校PTA 参与
監事	吉成 みち子	横須賀学院中学校・高等学校教育賛助会 会長
	金子 晃久	高木学園女子高等学校PTA 顧問
顧問	深谷 祥子	藤嶺学園藤沢中学校・高等学校PTA 担当役員
	市川 昌廣	横浜学園高等学校後援会 会長
	玉園 篤敏	平塚学園高等学校父母の会 会長



私立学校への「経常費助成補助」の増額を求めて

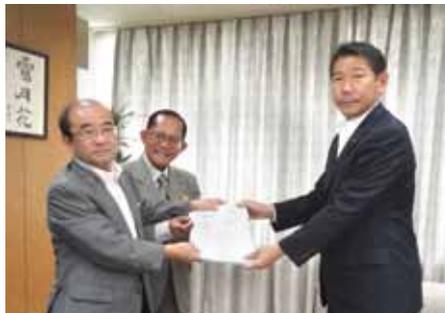
佐藤光県議会議長へ請願・署名を提出 9月8日 神奈川県庁新庁舎

私立中学高等学校協会役員4名と私学保護者会連合会の役員2名が県庁を訪問し、私立学校の保護者負担の軽減と教育条件の維持向上に向けた、私学への「経常費助成補助」の増額等の要望を県議会議長に提出しました。

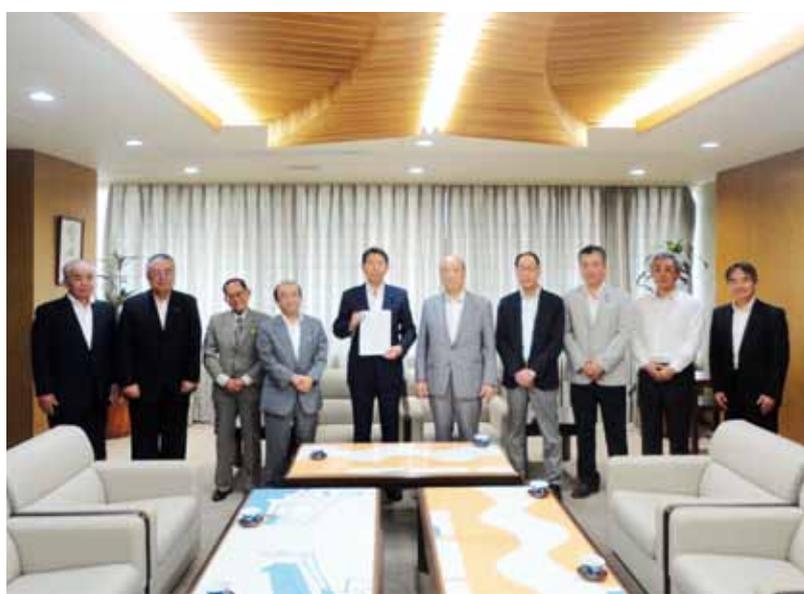
6月1日に全加盟校にお願いした「経常費助成補助」に関する署名は、全校の学校・法人・保護者代表から249名分が集まりました。県庁新庁舎の会議室において、中高協会の工藤誠一理事長と保護者会連合会の佐藤昭会長が代表して、佐藤光（さとう ひかる）県議会議長に提出しました。

平成29年度の「私学振興費」の総額は、昨年度に比べ減額となっております。その内容は、「私立高等学校等生徒学費補助」は制度変更にとまない負担が減額されたものの「私立高等学校等就学支援事業費」と合わせた予算額は減額となっております。なかでも、「私立学校生徒学費緊急支援補助金」の減額や最も大事な私学経営の柱となる「経常費補助」は対前年度2%の減額となっており、私学への県費助成の増額を強く要望します。

神奈川県私立高等学校等への生徒一人あたりの「経常費助成」は、高等学校、中学校、中等教育学校とも国の財政措置である基準単価を大幅に割り込み、



全国都道府県別に比較すると中学校が全国でワースト1位、高等学校がワースト2位という低い水準です。神奈川県に学ぶ生徒たちが、保護者の経済状況に左右されず、より自由に学校選択ができる教育環境をつくるために、私学への助成は極めて重要なことと考えます。これからも「経常費助成補助」のさらに増額を求める取組について、全加盟校のご協力をお願いします。



公演内容 ● 平成29年5月19日 ● 場所 神奈川県私学会館4階講堂

公演「劇団かかし座の影絵の世界」

脚色・構成・演出：花輪 充
音楽：石川 洋光

劇団かかし座のプロフィール

劇団かかし座は、日本で最初にできた現代影絵の専門劇団です。(1952年創立) 影絵の世界は人々の心を無限の想像へ駆り立てる、ふしぎな性質と魅力をもっています。

この性質と魅力をもって「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで、創立以来独自の手法で影絵の世界を拓き、多くの作品を生み出してきました。

現在は、影絵の技術を更に発展させた新たな舞台作品をはじめ、出版、テレビ、映像作品などの総合エンターテインメントを国内外に発信しています。



参加型の手影絵体験コーナー「光と影の手遊び」

● ハンドマジック

こちらの影を見ながら一緒にやってみますよ。両手を胸の前に出してください。さあ何が出来るかは出来上ったの



お楽しみ。両手を胸の前に出して手のひらを下へ向けます。そうです。次に片方の手、右手をひっくり返して手の背中和背中、甲と甲を合わせます。次に小指と小指を引っかけます。次に人差し指と人差し指も引っかけます。小指どうし人差し指どうしがひっかかっていますね。小指をかけたまま人差し指を引っかけます。



まだまだいきますよ。右手の人差し指と親指で〇を作ります(悲鳴が聞こえましたね)。さあ、最後です。右手上の手、中指と薬指を天井に向けてびんと伸ばして、角度を整えますとウサギのできあがり。そうです素晴らしい。さあどうでしょうか。ちょっと見えていますね。(拍手。歓声) 素晴らしいウサギでしたね。これはちょっと難しいですが素晴らしいウサギでした。どうもありがとうございました。

長い間おつきあいいただきまして



有り難うございました。

このハンドマジック天氣のいい日は太陽の光で地面や壁に影を映して皆さんもぜひチャレンジしてみてください。それではまたお会いしましょう。(拍手)

劇団かかし座公演

「魔法つかいのおとぎばなし」を鑑賞して

会計理事 吉成 みち子

(横須賀学院中学校・高等学校教育賛助会 会長)



手指や腕による影絵の演技だけでなく、セリフや歌にまで及ぶ全てを出演者がこなしていることは新鮮な驚きでした。全身を駆使して一つひとつの影に

まさに命を吹き込むかのような熱演に魅了された後、続けて出席者も手影絵のレクチャーを受け、小さな「生き物」達の操り方を覚えた会員が演じる即興の発表会は大いに盛り上がりました。帰宅後、ご家庭で成果を披露された会員も多かったことでしょう。

今年度の定時総会・研修会会場となった神奈川県私学会館は、横浜駅一帯を見渡せる高台に位置しています。最上階の講堂は天井も高く、窓からのふんだんな採光と暗幕による遮光がともに可能な重厚な空間には、200名に近い方々をお招きすることができます。このような会場の特性を十二分に活かせる団体として、横浜市に本拠を置き出張公演に定評のあるかかし座に今回の公演をお願いしました。当日は朝から舞台設営を始めてもらい、開場時刻には既に小舞台がしつらえられた中での総会開催となりました。昨年までの会場(崎陽軒)よりも遠くなってしまうにも関わらずご参集くださいました会員の皆様と、開催に当たり劇団との交渉も含め、ご尽力いただいた事務局に心より感謝いたします。

影絵劇

「魔法つかいピーストと少年ウィリー」

● あらすじ

少年・ウィリーが森の中を歩いてると、おそろしい笑い声が聞こえてきました。

そう！ウィリーを狙う魔法つかい「ピースト」が現れたのです。

危ない、ウィリーが捕まってしまう!?

いいえ大丈夫!

だって母さんが、魔法つかいを退治する方法を教えてくださいましたもの!

ウィリーの勇気と母さんの智恵で悪い魔法つかいを追っばらう、痛快な物語。



平成29年度日本私学保護者会 連合会総会・研修会

副会長 深 沼 昭 彦
(横浜清風高等学校PTA 常任顧問)



昨年度に続き、本年度の全国総会
に出席してまいりました。昨年は、
中部地区愛知県にて開催されました。
本年度は、関東地区千葉県にて開催
されました。この総会は二日間でおこ
なわれ、初日は、総会、講演と高校生部活発表が執り行
われました。

総会では、本年度神奈川県私学保護者会連合会佐藤
昭会長が日私学保護理事に就任いたしました。

平成24年度から開催の全国青少年育成研修会につい
ては、今年度までは、県担当でおこなっておりましたが、
次年度から地区担当で輪番となりました。

講演では、日本私立中学高等学校連合会、福島康志
事務局長より「私学を
めぐる中央情勢につい
て」修学支援の現状
と今後」のお話をい
ただきました。

高校生部活発表はス
トリートダンス部によ
る公演を鑑賞いたしま
した。

二日目に入り研修会
では、(株) オリエンタ
ルランド、マーケティ
ング部教育体験推進担
当・徳田祐一郎様より



講演をいただきました。安全・挨拶・身だしなみ・効率
の4つの行動基準を定め、キャストの育成に努めている
そうです。

総会において、まだまだ公私間格差の是正等が全国区
において改善されておりません。一部の都道府県では無
償化が実現されております。神奈川県もまだ実現してい
ない県もあります。子どもたちに教育の選択の自由を
約束してあげる為にも今後ともご協力、お力添えをお願
いいたしましてご報告と致します。

いじめ・暴力行為問題対策協議会 平成29年8月24日(木)神奈川県私学協会館講堂

副会長 鴨 下 博 厚
(洗足学園中学校・高等学校洗足会 顧問)



この協議会は、平成26年4月に
策定された「神奈川県いじめ防止
基本方針」に基づき、いじめの防
止等に関係する機関及び団体の連
携を図るために設置されたもので、

当連合会からは4名が構成員として参加しています。
今回の協議会では、今年の3月に国の『いじめの防
止等の基本方針』が改定されたことを受けて、県の
基本方針を改定することの状況報告や意見交換が行
われました。また昨年7月に発生した「津久井やま
ゆり園」での痛ましい事件を受け、昨年10月に県議
会で可決された『ともに生きる社会かながわ憲章』
や、毎年9月1日に急増する若年層の自殺予防のた
めに設置された「24時間子供 SOSダイヤル (0120-
0-7830)」についての情報提供などがありました。
その後、今回の基本方針の改定にも関連する内容
として、「外国につながる児童・生徒の教育について」

という演題で、多文化共生教育ネットワークかなが
わ・理事の井草まさ子様講演がありました。外国
人登録者が急増する状況下、その子どもたちの教育
に関わる問題も増えています。言葉の遅れや文化の
違いなどが学校でのいじめや不登校につながるケ
ースも多く、どのような問題・課題があるのかを、実
際の相談事例からご説明いただきました。事例毎に
抱えている問題が違うなど、その解消は簡単では無
いと感じましたが、難しい課題だからこそ官民挙げ
ての協力が必要と思われました。

講演の最後に井草様は、「子どもが安心して居られ
る居場所づくりが重要である」と仰いました。この
言葉は、昨年のこの協議会で講師をされた、川崎で
不登校の子ども達の居場所づくりに取り組む方の言
葉と全く同じで、子ども達に注ぐ視線は一緒なのだ
と気付きました。今回の協議会も大変意義深く、今
後も当連合会は保護者の立場から、積極的に参加、
協力することが大切だと痛感いたしました。



関東地区代表者会・研修会に参加して

会計理事 浅見 昌宏

(立花学園高等学校PTA 参互)



今年度は、8月25日(金)に埼玉県さいたま市浦和で、関東地区私学保護者会連合会・連絡協議会・代表者会及び研修会が開催され、

神奈川私学保護者会からは、佐藤会長以下13名の理事並びに事務局次長が出席しました。

大会は、次第にそって進みましたが、この大会の最大の目的が公私間格差の是正であることから、代表者、また、ご来賓の皆様のご挨拶などでは、その思い熱意が強く感じられました。

次に、東京都を除く関東地区6県から活動内容や取り組みなどの報告で情報交換が進められましたが、それぞれ各県特色があり、今後の活動に向けて参考となり大変有意義であったと感じています。

その後の研修会では、『昨年24時間テレビ、愛は地球を救うドラマ(盲目のヨシノリ先生)で話題となった』皆野町立皆野中学校教諭、新井淑則先生が、心はいつもバリアフリーという演題で講演されました。



荒井先生は、網膜剥離を28歳で患い34歳で全盲になったそうですが、その困難を克服し、中学校の教諭に戻り国語の先生として、そしてクラス担任として、もう一度教壇に戻る夢を現実に実現されたお

話と、視覚障害者が、白杖を持って歩いている場合や駅のホームの危険箇所、また、日常生活などで経験する数々の危険についても自身の体験談や視線でお話をされましたが、私たちが、戸惑っている視覚障害のある方を見かけたときは、まず声かけをし、援助を求められたら、どうすればよいか確認する。ちよつとした心遣いと支援が、視覚障害者のより安全で安心な外出につながるとも話されていました。



今後高齢化社会も進む中、大変考えさせられる講演内容でした。研修会後は、各県の役員が参加する懇親会が開かれ、最後に来年度の次期開催県である群馬県代表のご挨拶で閉会となりました。

●2017神奈川全私学(中・高)展 神奈川全私学(中・高)41校が パシフィコ横浜・展示ホールCに 集合しました。

開催日時：2017年7月17日(海の日)
時間：10時～16時
場所：パシフィコ横浜・展示ホールC・D、
2階アネックスホール

今年も開場前から多くの方に並んでいただき、32,200人の方にご来場いただきました。学校ごととのブースや各コーナーでは、ご来場の保護者や児

童・生徒の皆様が多くの関心を持って見学していました。

特設ステージのイベントでは参加33団体が趣向を凝らし、特徴を活かした内容でステージ発表に取り組んでいました。「保護者のための講演会」として、2階アネックスホールでは「講演会」と「各校の資料コーナー」を用意しました。特に保護者向け講演会についてはとても関心が高く、多くの皆様が熱心に聴講していました。

「制服展・校章パネル展・部活動写真展」は例年実施のコーナーですが、139体の制服人体には今年も多くの方々が大きな関心を持っていました。部活動写真展は各校の活動の様子がよくわかる展示でした。

「学費支援相談コーナー」の相談員担当者は26名にお願いしました。神奈川私立中学高等学校事務長会の皆様24名、神奈川県民局次世代育成部私学振興課から2名の方にご協力いただきました。



保護者の願いを届けましょう！

神奈川県私立中学校・高等学校

振興大会

平成29年11月27日(月) 14時00分～15時40分

パシフィコ横浜 会議センター メインホール

平成29年度も「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」を、私立中学高等学校協会・私学保護者会連合会主催、私学保護者会交流会の共催で開催します。

開催の趣旨は、神奈川県私立中学校・高等学校のより一層の振興を期して「神奈川県私立学校の決意と願い、及び努力を神奈川県民の皆さまにアピールする」ことを目的として、

- ① 改正教育基本法及び私学振興助成法の精神を十分に反映した私学振興策の着実なる実施
- ② 公私間の学費格差の是正や公立学校の協調経常費補助（生徒一人当たりの単価）を国の財政措置額並の増額等を行政関係者及び議会関係者に要請
- ③

といたします。

当日の招待者（予定）は、神奈川県知事の黒岩祐治様、県議会議長の佐藤 光様、をはじめ来賓として国会議員、県会議員をお迎えする予定です。参加者は、加盟校の理事長・校長・教職員及び保護者会から各校10～15名程度をお願いし、約1,000名の大会にしたいと考えております。

今年も多くの皆様のご参加を、よろしくお祈りします。

神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会

実施日	平成29年11月27日(月)
会場	パシフィコ横浜 会議センター メインホール <交通> JRまたは市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩12分 みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩3分
時程	・受付 13:20～14:00 ・振興大会 14:00～15:40

平成29年度主な行事への出席

- ◆4月30日(日) 「2017中学相談会」 *パシフィコ横浜(佐藤会長、深沼副会長)
 - ◆5月9日(火) 平成29年度5月理事会 平成28年度会計監査
 - ◆5月19日(金) 平成29年度定時総会・特別公演会 *私学会館講堂
 - ◆5月25日(木) かながわ地球環境保全会議総会 *県庁本庁舎3階大会議室(木村理事)
 - ◆6月23日(金) 関東地区私学保護連理理事会 *浦和ロイヤルパインズホテル(佐藤会長、事務局)
 - ◆7月8日(土) 神奈川県社会環境健全化推進会議 *小田原市生涯学習センター(げやぎ(深谷監事))
 - ◆7月13日(木) 日本私学保護連総会・研修会 *ホテルニューオータニ二幕張(佐藤会長、深沼・原副会長、事務局)
 - ◆7月15日(土) 全国高等学校総合文化祭派遣激励式 *横浜西公会堂(佐藤会長)
 - ◆7月17日(月・祝) 「2017全私学(中・高)展」 *パシフィコ横浜(佐藤会長、深沼・鴨下副会長、稲葉・庄司・木村理事、深谷・金子監事)
 - ◆7月25日(火) 事務長会夏季研修会 *ホテル河鹿荘(佐藤会長、深沼・鴨下副会長)
 - ◆8月22日(火) 理事長・校長研修会 *箱根湯本富士屋ホテル(佐藤会長、深沼・鴨下副会長)
 - ◆8月24日(木) いじめ暴力行為問題対策協議会 *私学会館講堂(佐藤会長、深沼・原・鴨下副会長)
 - ◆8月25日(金) 関東地区私学保護連総会・研修会 *浦和ロイヤルパインズホテル(佐藤会長、他役員13名)
 - ◆8月29日(火) 神奈川県レジ袋削減実行委員会 *波止場会館4階会議室(庄司理事)
 - ◆9月8日(金) 県議会議長への請願 *県庁新庁舎(佐藤会長、深沼副会長、事務局)
- これからの行事予定**
- ◆10月25日(水) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅰ」*国立歴史博物館、もの知りしょうゆ館見学研修(佐藤会長、石田代表、約80名)
 - ◆11月21日(火) 私学振興全国大会 *東京・メルパルクホール
 - ◆11月27日(月) 神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会 *パシフィコ横浜 会議センター メインホール
 - ◆2月(予定) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅱ」*講演会

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ <http://www.phsk.or.jp> ●内容 学校情報・入試情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』 〒221-0833 横浜市神奈川区高島台7番地5 神奈川県私学会館内 ☎045(321)1901
 ■印刷所 『有限会社 イソノ』 〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-10-4 ☎045(753)2549